

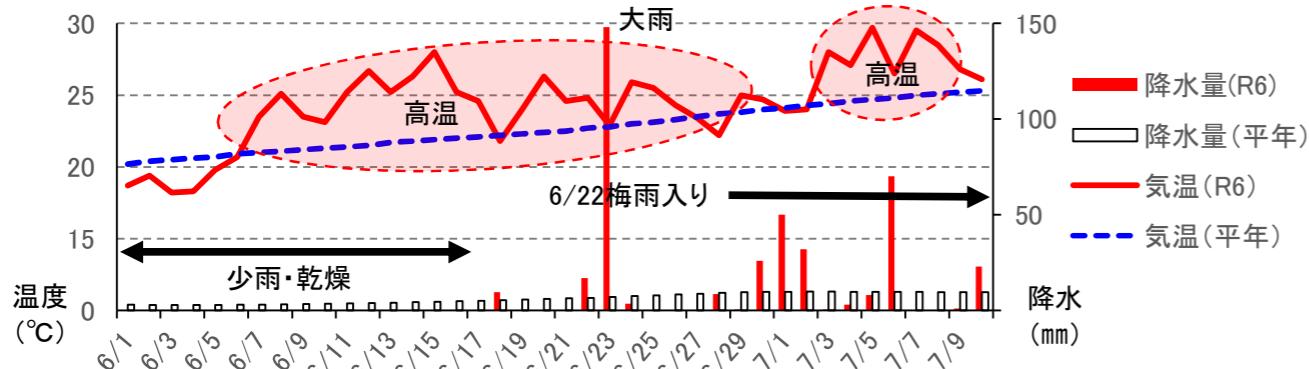
JOINT ACTION No.3

【ジョイント・アクション】

気象庁は、北陸地方の梅雨入りを22日ごろ(平年より11日遅い)と発表しました。梅雨入り後は、降雨日もありますが、まるで梅雨が明けたかのような夏の陽ざしや高温の日もありました。今後も梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなることが予想されています。水田では、ハナエチゼンは出穂期、コシヒカリは幼穂形成期を迎え、これから、防除や穗肥など重要な農作業が続きます。梅雨の晴れ間をみて段取りよく行いましょう。

1. 気象状況

6月上旬の低温で緩慢だった稻の生育は、6月中旬以降の高温により回復しました。今後も温度の高い日が予想されますので生育状況に応じた管理を行いましょう。



【水稻の生育状況と栽培管理】

①ハナエチゼン(平年比)

- 草丈:並み
- 茎数:やや多い
- 葉色:やや濃い
- 葉令:並み

【栽培管理】

いもち病・カメムシ防除の実施

②コシヒカリ(平年比)

- 草丈:並み
- 茎数:並み
- 葉色:やや濃い
- 葉令:並み

【栽培管理】

幼穂形成期以降は、間断通水を実施

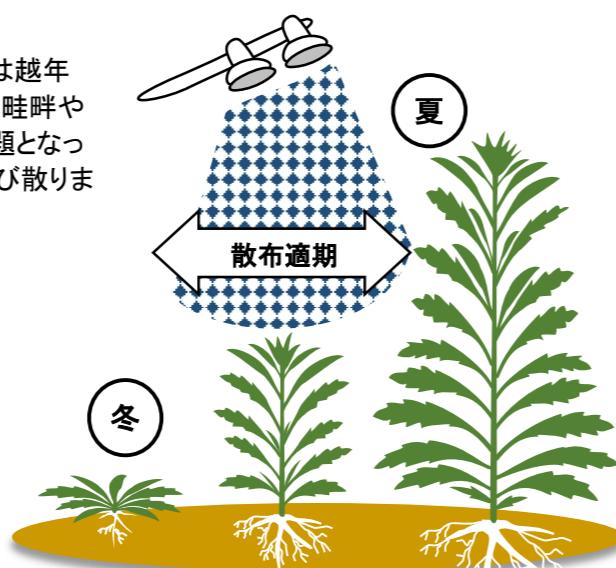
2. 水田畦畔の雑草管理

難雑草『オオアレチノギク』と『ヒメムカシヨモギ』(キク科)は越年生雑草で、見た目も生育場所も非常に似ています。近年、水田畦畔や転作田でよく見かけられ、一部の除草剤に対する抵抗性が問題となっています。雑草を放っておくと開花後に綿毛を持った種子が飛び散ります。早め(開花前)の防除が重要です。



- ラウンドアップでは枯れない。
- 草刈り機で刈り取ると、根元から脇芽が沢山出てくる。

オオアレチノギク・ヒメムカシヨモギ防除方法
除草剤名: バスタ 200倍
ザクサ 100倍



3. 草刈り作業の適正使用と安全対策を!!

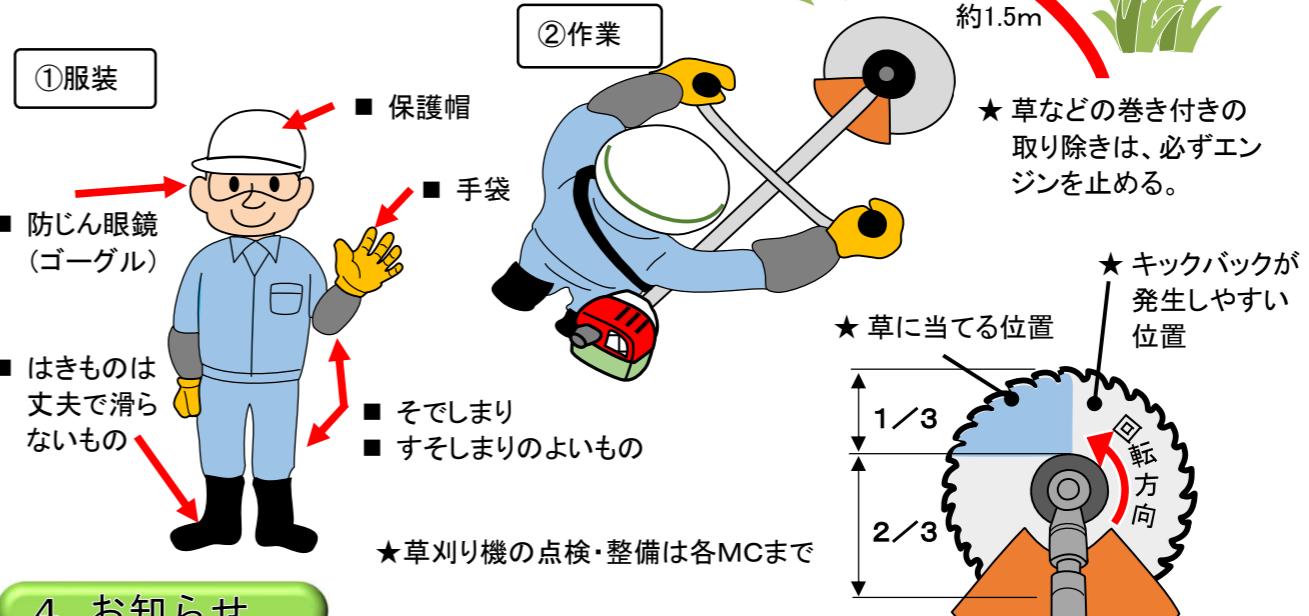
気温が高くなるにつれて雑草の成長も旺盛となり、草刈り作業も本番をを迎えます。草刈り作業は、草刈り機(刈払い機)を使用するため、適正使用・安全対策を怠ると重大な事故につながる恐れがあります。

機械を使用する前には必ず取扱説明書をよく読んで、運転操作を十分に理解してから正しく使用し、作業中の事故やけがの内容に心掛けましょう。

- ★ 作業に適した作業服・保護具を使う。
- ★ 作業前に各部の点検をする

①服装

- 保護帽
- 手袋
- 防じん眼鏡(ゴーグル)
- はきものは丈夫で滑らないもの
- そでしまり
- すそしまりのよいもの



4. お知らせ



①雑穀『収量アップ』研修会【雑穀の収量向上支援】

R6年産麦類の収量(施設荷受)比で、前年比70%と低収量となりました。昨年、播種時期10~12月の多雨の影響が考えられます。排水対策の再確認と、今後のソバや麦類の適正な播種について研修会を開催します。

内容

①研修会

- R6麦類の収量と排水対策について: 農業試験場
- 排水対策機械について: 農機メーカー
- ソバ・麦類の栽培について: 農業試験場
- 農機・肥料・農薬展示

②昼食

- 県産ソバの食べ比べ

②大豆『里のほほえみ』作見会

県内、各地区で作付けされている『大豆』について、現在の生育状況の確認と、収量アップを目指した作見会を開催します。各地区の大芸栽培を見学して、大豆栽培のレベルアップを図りましょう。

開催日時

- 7月24日
- 13:00~16:30
- 集合場所
福井北部低温倉庫センター
福井市川合鶯塚町川合鶯塚町9-41
- 13:00~
福井地区(2カ所)
- 14:30~
坂井地区(2カ所)
- 16:00~
丹南地区(2カ所)

◆ 各研修会は参加申込が必要です。研修会の詳細や参加申込は、担当営農指導員まで。